

平成 23 年 10 月 24 日

富士宮市長  
須藤秀忠様

富士宮地区労働者福祉協議会  
会長 小林 純一  
連合静岡・富士富士宮地域協議会  
議長 小林 純一



## 要 望 書

秋涼の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
日ごろの市政運営に対するご尽力と、勤労者福祉活動へのご理解とご支援に対して心から感謝と敬意を表します。

さて標題の件ですが、本年も昨年同様、富士宮地区労働者福祉協議会（労福協）と連合静岡・富士富士宮地域協議会（連合地協）は、行政との連携を大切にしながら相互扶助の精神に立ち、「人とくらし、環境にやさしい福祉社会」の実現に向けた活動を進め、労働団体、福祉事業団体と連携して、環境・福祉・教育を中心に地域ネットワーク形成の活動を強めているところです。

つきましては、今後も勤労者ならびに市民のために今まで以上のご支援とご協力をお願いするとともに、下記の要望項目につきましても実現くださるようお願い申し上げます。

尚、本要望書に対しましては、文書による回答をお願いいたします。

### 【具体的要望事項】

#### 1. 大規模災害への行政対応について

(1) 3月11日に発生した東日本震災や3月15日の富士宮市を震源地とした大地震によって、労福協会員を始め、市民の家屋は瓦や壁の損壊など相当な被害を受けました。労福協会員とその家族は日頃からの災害に対する備えの重要性について改めて自覚をしたところではありますが、個人の備えには限界があり、行政として万一の災害に対しての支援やフォローが必要であると認識しています。つきましては富士宮市として市民の安全と安心の観点から、今回の地震についての危機管理体制を含めた総括をお聞かせいただきたいと思います。

(2) 東日本大震災に伴う夏場の節電対策による計画停電対応の為、勤労者の休日や業務時間の変更があり、私達の富士・富士宮地域でも園児をかかえる家庭においては幼稚園の休日開園を求める声が強くありました。富士宮市はこれらの要望を市民より迅速に聞き取り調査し、休日開園を希望する家庭を対象に9月末まで大宮幼稚園の休日開園を実施していると聞いています。今後も冬場の電力削減による計画停電も予想されることから状況を鑑みて同様の延長対応について引き続きお願いいたします。

(3) 原子力発電事故の放射能影響が懸念される中で、富士宮市は公共施設や配水池、浄化センター等において放射線・放射性物質測定を定期的を実施してホームページに掲載をされています。市民の健康や安全を配慮された対応であり、この測定を継続してリリースしていくことで市民の安心に繋がることから、今後も影響が無くなるまで継続して測定と結果公開についてお願いいたします。

(4) 大規模災害による高齢者や障害者の避難誘導について富士宮市としてどのように考えているのか、ご教示願います。併せて、緊急時の災害情報をアナウンスしている公報無線が聞き取れない地域がまだ存在するとの要望があります。緊急災害の避難情報等、市民に周知すべき情報の提供方法について今後の展開を伺いたいと思います。

(5) 現在、富士宮地区労福協では社会貢献活動の一環として、東日本大震災で被災された方々への復興支援を目的に独自活動を行っています。義援金活動を中心に今年度はチャリティーバザーの実施も予定しています。震災の被害規模から復興の長期化は否めない状況であることから、労福協の支援活動も複数年かけて継続されていくことが予想されます。今後も会場の提供や広報掲載等、富士宮市の協力を依頼する場面があると思いますのでご協力を宜しくお願いいたします。

## 2. 学校の安全対策について

(1) 将来予想される東海地震や大規模災害発生時には、各学校が市民の避難先として利用されます。その際には高齢者や体の不自由な方が避難されることを考えますと、まだまだ洋式トイレの普及が充分な状況ではありません。昨年度から引き続きの要望になりますが、洋式トイレ化の促進をお願いいたします。また、学校施設の公共性を踏まえて、施設全体のユニバーサルデザイン化について富士宮市としての考え方をご教示願います。

(2) 今回の東日本大震災発生の際には、情報の収集や発信手段が寸断され、外部や保護者への連絡等ができず、非常に苦慮したとの声が学校関係者からありました。現在、市内の学校にはワンセグ対応のノートパソコンが配備されていないことから情報の収集手段の確保の為、パソコンの設置を検討いただきたく要望します。また、パソコンの起動や照明等の停電時における電源確保の為、学校側として使用できる発電機の常設も希望します。

## 3. 地震災害による交通網遮断等への対策について

(1) 道路の安全対策についての要望は毎年非常に多く寄せられています。今年度は3月の地震災害もあって土砂崩れや倒壊等による危険地に対する注意喚起の声が寄せられています。市

民の安全確保の観点で下記5箇所について早急の対応を検討願います。

- ①青木坂の道路崩壊・がけ崩れ
- ②西山工業団地カーブ
- ③大泉寺墓地の墓石落下懸念
- ④中原町（登山道）交差点に歩行者用信号設置
- ⑤東阿幸地、渡辺米店前交差点

(2) 道路要望と同様に信号機の増設や右左折矢印信号機の設置要望も多数寄せられていますが、信号機の増設にあたり、どのような基準で設置されているのか、ご教示願います。

以上